

BCAO仙台地域勉強会（2021年1月8日）議事録
（「企業・組織のBCP／防災勉強会@仙台」と合同開催）

1. 日 時：2021年1月8日（金）17時から18時30分まで
2. 場 所：ZOOM
3. 参加者：＜50音順＞（敬称略） 計18名
*事務局：丸谷（災害研）、田中（災害研）、三澤（東北大公共）、和田山（東北大公共）

議事①：1. 「イトーキの事業継続計画のご紹介」

説明：（株）イトーキ仙台支店 佐藤興太様

*対策状況について説明し、質疑応答を行った。社内秘事項もあると思われるために議事録では省略する。

議事②：「災害科学国際研究所のWEB会議方式の災害対策本部訓練について」

説明：東北大学災害科学国際研究所 丸谷浩明

災害科学国際研究所のWEB会議方式の災害対策本部訓練について説明

Q：一つのシステムで二つの会議を運営する際の ZOOM の優位性はどのような点があるか。

A： Google meet にも慣れていましたが、契約変更でサービスが低下したので同様に慣れている ZOOM を使用した。ZOOM の有料アカウントを研究所で確保しており、普段の会議も ZOOM で行っていることから今回の訓練では ZOOM を使用した。ZOOM はセキュリティの問題が指摘されて行政機関で使用をためらうところもあるが、本研究所の防災対応では機微な情報を扱わないので使い勝手を優先した。

Q： 「2つのシステムの区別を強調」とあるが、情報共有と意思決定を区別するという意味か。

A： 2つのシステムで同時に会議を行うと、どちらに向けて話すべきか混乱してしまうことがある。それに気を付けるために2つのシステムを分けた。

議事③：「日本建設業団体連合会の新型コロナBCPガイドラインの紹介」

説明：東北大学災害科学国際研究所 丸谷浩明

C： 当社は、社員の感染情報が漏洩し問題になることを危惧し、隠蔽と批判を受けない程度に情報管理を行っている。この対応が正解なのか疑問があったので、他業種の事例と比較できてよかった。

C： テレワークができる本社とできない現場の差をどう埋めるか考えなければいけないと

感じている。

議事④：その他

Q： 保健所の逼迫状況はいかがか。

A： 保健所の対応は逼迫しており、保健所の対応を待つだけだと対応が間に合わない状態。感染が発生した場合、自分達で消毒場所、消毒方法を決め消毒を実施する必要がある。また、濃厚接触者の特定、自宅待機者の指定等も自分達で行わなければならない。高齢や持病があると急激に悪化する恐れがあるので、産業医や保健所の指示を仰いでほしい。一人暮らしの社員については重症化した時すぐに気付ける体制づくりも求められる。